

新型コロナウイルス対応に関する緊急アンケート調査

2020/9/15

1.発熱、咳等でかかりつけ又は初診患者が受信する場合の対応	2.指定の時間に受診、または直接外来に来た上記患者への対応	3.新型コロナウイルス抗原陰性だった患者への対応(複数可)	4.国から県に対し、保健所と各圏域の医師会でタイアップして新型コロナウイルス検査態勢を整えるように指示が来ていたが、8月28日に地域の診療所で診察から検査まで一括対応してもよいという方針が示されました。これについてどのように考えますか。	
1)発熱、咳等でかかりつけ又は初診患者が受信する場合の対応 1)発熱等あれば原則として電話してから指定の時間に来て貰う。 2)上記の場合、電話で直接、感染症対応病院に行くよう指示する。 3)インフルエンザの可能性が強いと思った場合は通常通り受診させる。 4)その他(記入)	1)指定の時間に受診、または直接外来に来た上記患者への対応	1)車の中もしくは隔離した場所等で待機させ、その場所で防護服を着て新型コロナウイルス抗原検査とインフル抗原検査を行う。(コナトリアージ) 2)車の中もしくは隔離した場所等で待機させ、その場所で防護服を着て新型コロナウイルス抗原検査のみを行う。(コナトリアージ) 3)防護服無しでマスク(フェイスシールド)と手袋装着して院内、または車の中や隔離した場所等でインフル抗原検査のみを行う。 4)その他(1)インフルエンザ抗原陽性はもちろん、陰性でも偽陰性の可能性あり、インフルエンザの治療を行う。 2)インフルエンザ抗原陰性なら感冒等の対症療法のみ行う。 3)インフルエンザ抗原陰性の場合、新型コロナウイルス偽陰性の可能性があるため保健所にPCR検査を依頼する。 4)インフルエンザ抗原検査をしない場合でも、インフルエンザの疑いが強い時はインフルエンザの治療を行う。 5)その他(1)医師会等で新型コロナウイルスの時のように発熱外来をどこかに開設し時間を決めて医師会員等が交代で診察、PCR用検体採取に当たる。 2)医師会等で唾液による抗原定量検査が可能な検査センターを設置、診療所等を受診した患者の唾液を採取してそこへ検査を依頼し陰性なら再度受診して貰いインフルエンザ抗原検査を行って治療を開始する。 3)診療所等で新型コロナウイルス抗原検査キットを購入し医療保険等で実施する。ある程度のリスクはあるがその場で判定出来、対応も早くできてよい。 4)その他(
1 4 病院玄関でトリアージ	4	2	2	
2 1	3	2	2	
3 2	4	4	2	
4 1	4	5	2	
5 1	4	1	2	
6 3	4	2	4	
7 1	3	2	2	
8 1	1	1	3	
9 1	1	1	3	
10 4 車の中or車のガレージで防護服で診察	4	1)の対応だが検査はしない	2	
11 3	1	1	3	
12 1	3	2	2	
13 1	4	検査センターの受診	2	
14 1	1	3	3	
15 2	3	2	2	
16 1	3	1	2	
17 2	無回答	無回答	無回答	
18 4 来院時、院外で主訴等をcheckして受診。発熱外来適当かを判断する。	4	1)が理想であるが、3)の可能性もあり	4	
19 1	4	5	2	
20 1	4	1)、2)を検討中です	2	
21 1・3	1	2	3	
22 1	4	車内に待機していただき、内服薬処方のみ	2	
23 1	1	1	3	
24 1	4	検討中	2	
25 3	4	未定	4	
26 2	1	1	2	
27 2	無回答	無回答	2	
28 1	3	4	3	
29 2	4	インフルエンザの治療を始める	1	
30 1	4	4	2	
31 3	3	1	3	
32 1	1	2	4	
33 3	4	1.項のとりの対応です。	4	
34 1	1	1	3	
35 1	1	2	3	
36 1	1	1	2・3	
37 1	3	2	1	
38 無回答	無回答	3	2	
39 1	3	2	2	
40 2	3	2	1	
41 1	3	2	4	
42 1	1	1	1・3	
43 1	1	2	3	
44 1	1	2	2	
45 1	4	症状の程度内容によって処方(1)を行うかは検討中	2	
46 2	4	もし院内で検査をしてコロナ陽性だった場合に2週間の休診が必要となると院内でのコロナ検査、コロナの唾液PCR用検体採取も困難です。もし、院内でコロナ陽性だったとしても休診が必要であれば対応できる可能性もありますが。	4	
47 1	4	症状の程度、内容によって処方。1)を行うかは検討中	2	
48 1	3	3	1	
49 1	1	2	1	

